

木徳神糧株式会社

2007年12月期決算説明資料

2008年3月6日(木)

注意事項

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。

本日の内容

2007年12月期業績の報告並びに 2008年12月期の業績予想

取締役

いよだ なおき

管理部門副部門長

伊豫田 直記

今後の経営について

代表取締役社長

ひら やま

平山

まこと

惇

2007年12月期業績の報告並びに 2008年12月期の業績予想

取締役
管理部門副部門長
伊豫田 直記

目次

1. 連結損益計算書
2. 連結セグメント別損益
3. 連結貸借対照表
4. 連結有利子負債残高推移
5. 連結キャッシュフロー
6. 個別(単体)の概況
7. 株主還元方針
8. 2008年12月期の業績予想

1. 連結損益計算書

単位：百万円

項目	07年12月期実績	06年12月期実績	増減	(参考)期初予想
売上高	98,515	92,000	6,515 (7.1%)	94,530
営業利益	831	432	399 (92.4%)	653
経常利益	717	311	406 (130.5%)	376
当期純利益	715	1,212	1,927	391

前年同期比の主要増減要因

売上高：米穀事業 前年比 5,405 取扱い数量の増加
(玄米・精米数量 28,920トン増加・加重平均販売価格3%強下落)

営業利益：販管費の削減 384(うち賃借料△83、人件費△55、リース料△53)

経常利益：有利子負債の減少に伴う支払利息の減少

当期純利益：前期の減損損失額 1,389

2. 連結セグメント別損益

単位：百万円

項目	07年度実績		06年度実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
連結合計	98,515	831	92,000	432	6,515	399
米穀事業	81,619	1,253	76,214	1,135	5,405	118
食品事業	7,782	145	6,929	61	853	84
鶏卵事業	6,535	133	6,730	119	195	14
飼料事業	3,171	212	2,294	159	877	53
消去又は全社	592	912	167	1,042	425	130

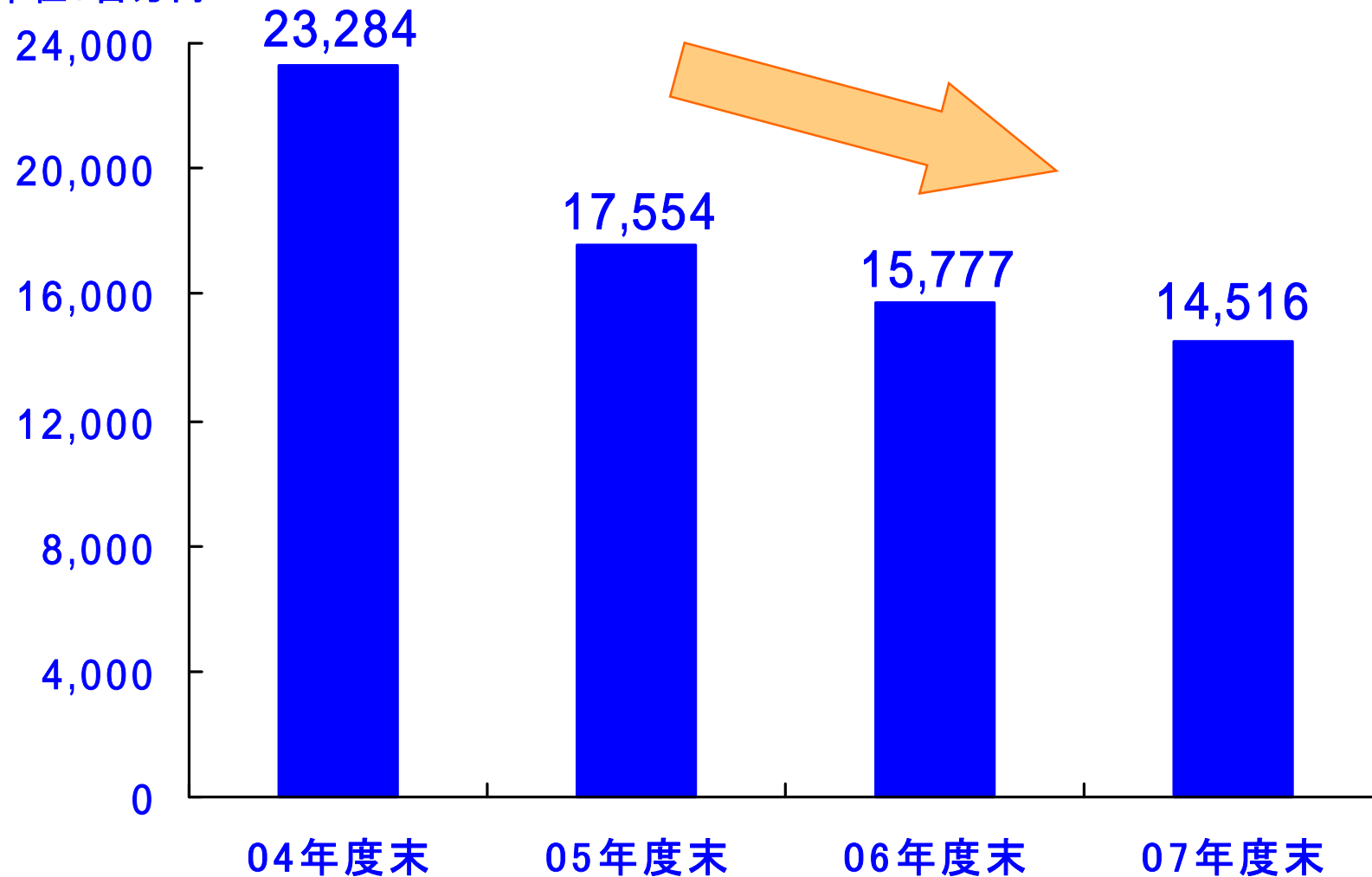
3. 連結貸借対照表

単位：百万円

項目	07年12月期 実績	06年12月期 実績	増 減	注記
流動資産	15,890	15,432	458	現預金 730 売掛金 198 未収入金 242
固定資産	9,728	10,243	515	減価償却費 706
資産合計	25,618	25,675	57	
流動負債	16,711	15,361	1,350	買掛金 797 短期借入金等 554
固定負債	4,805	6,815	2,010	長期借入金 1,462 社債 353
負債合計	21,516	22,176	660	
純資産合計	4,102	3,499	603	
負債純資産合計	25,618	25,675	57	

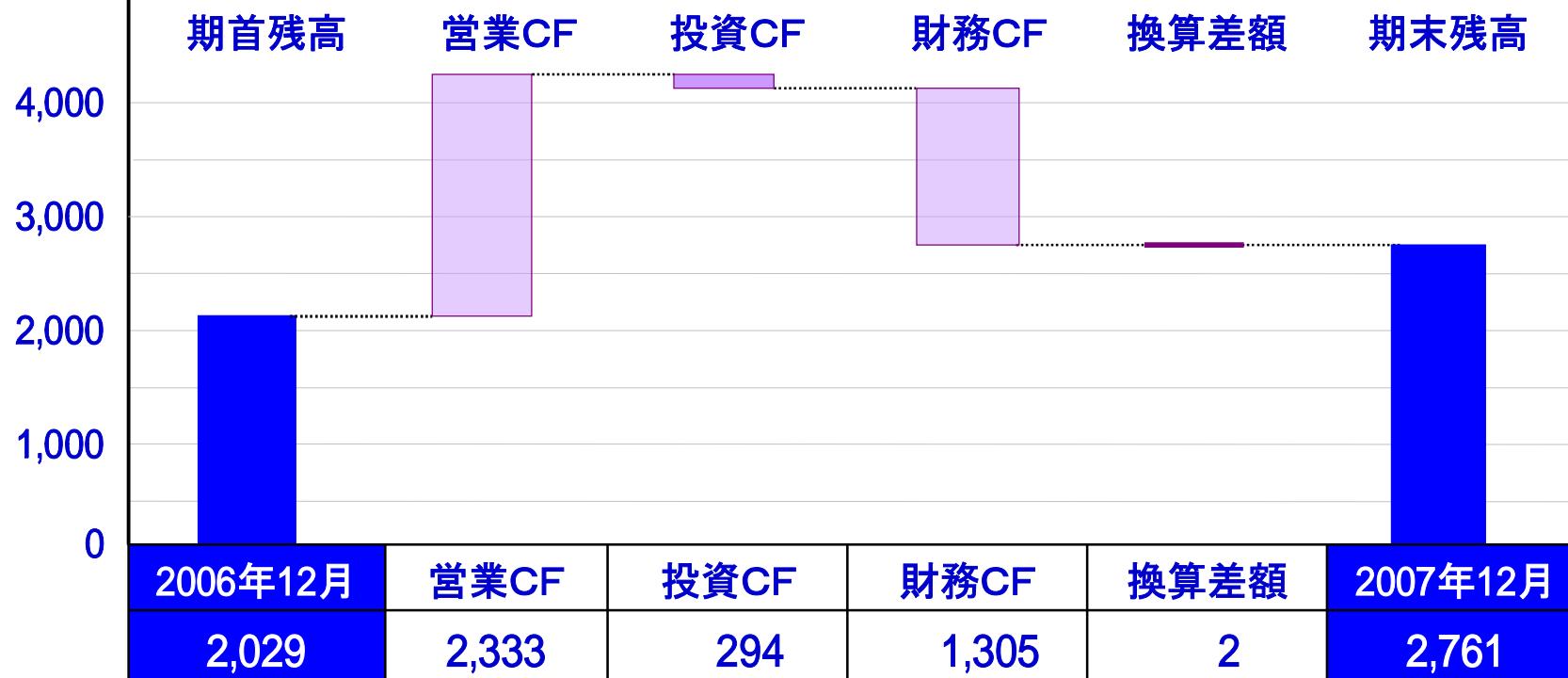
4. 連結有利子負債残高の推移

単位：百万円



5. 連結キャッシュフロー

単位:百万円



営業CF: 税金等調整前純利益 690 仕入債務 796 減価償却 706

投資CF: 設備投資額 586 有形固定資産売却収入 231

財務CF: 長期借入金 2,068 社債 565 短期借入金 1,370

6. 個別(単体)の概況

単位:百万円

損益計算書抜粋	07年12月期実績	06年12月期実績	増減	(参考)期初予想
売上高	77,484	68,545	8,939	72,900
営業利益	651	466	185	430
経常利益	495	332	163	225
当期純利益	893	1,103	1,996	213

貸借対照表抜粋	07年12月期実績	06年12月期実績	増減
流動資産	11,872	10,030	1,842
固定資産	7,979	8,103	124
資産合計	19,851	18,133	1,718
流動負債	12,834	10,518	2,316
固定負債	3,767	5,157	1,390
負債合計	16,601	15,675	926
純資産合計	3,250	2,458	792
負債純資産合計	19,851	18,133	1,718

7. 株主還元方針

期末配当では1株につき2円増配(創業125周年記念)により4円とし、中間配当2円を加えて年間6円を予定しております。

(参考:前年通期は1株につき3円でした。)

<利益配分方針について>

当社は、安定的な経営基盤確保のため、内部留保のより一層の充実を目指す一方、株主に対する利益還元について、安定的な配当の継続を業績に応じて維持することを基本方針としております。

8. 2008年12月期の業績予想

単位：百万円

項目		08年12月期予想	07年12月期実績	増減
売上高	連結	92,897	98,515	5,618
	単体	75,282	77,483	2,201
営業利益	連結	840	831	9
	単体	675	650	25
経常利益	連結	616	717	101
	単体	450	495	45
当期純利益	連結	564	715	151
	単体	465	893	428

今後の経営について

代表取締役社長

平山 惇

目次

1. 経営理念及びキーワード
2. 当社を取り巻く経営環境
3. コメに係わる事業の中長期の経営方針
4. その他の事業の課題

1. 経営理念及びキーワード

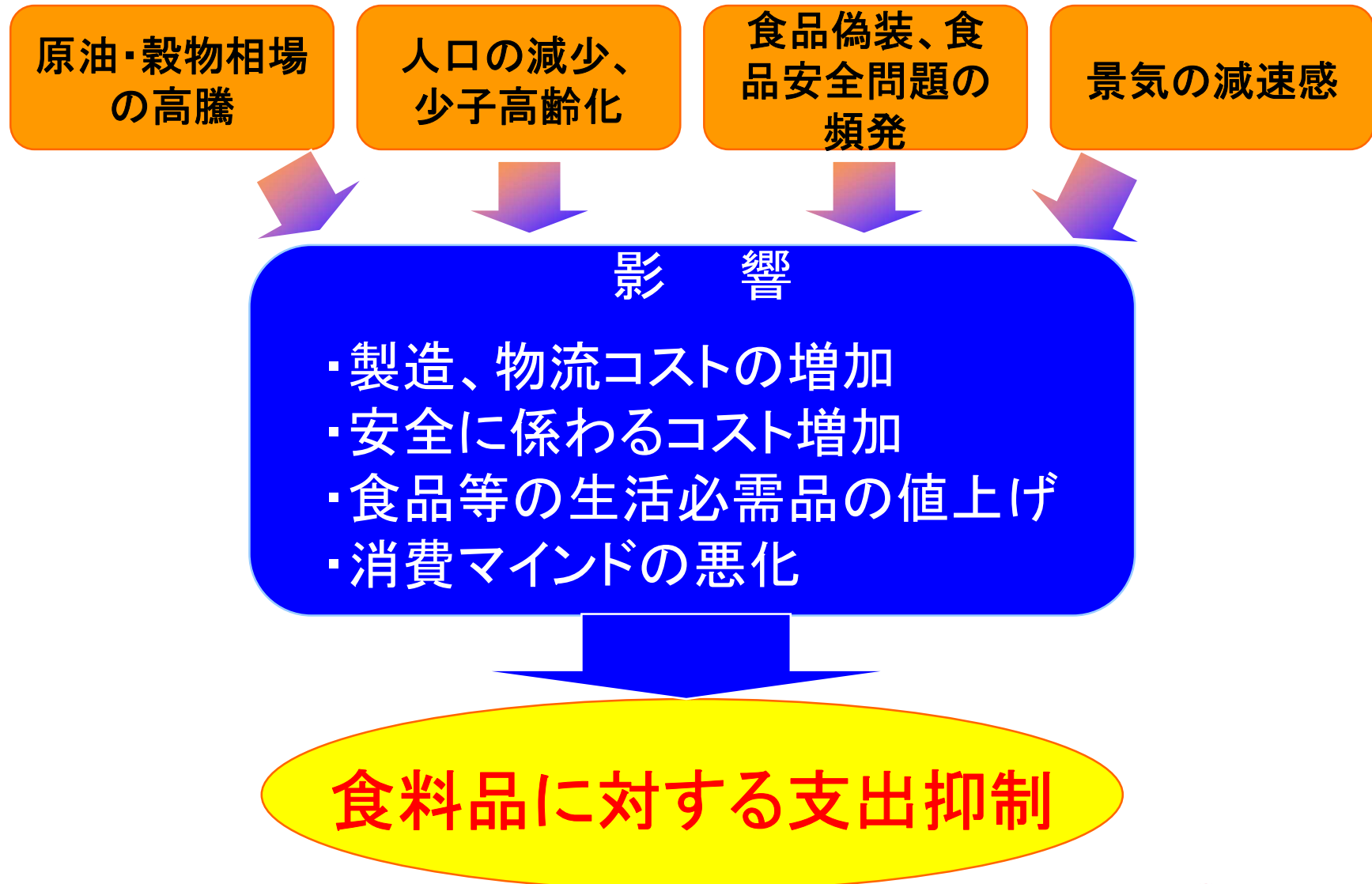
キーワード

- ・ チェンジ
- ・ 存在意義

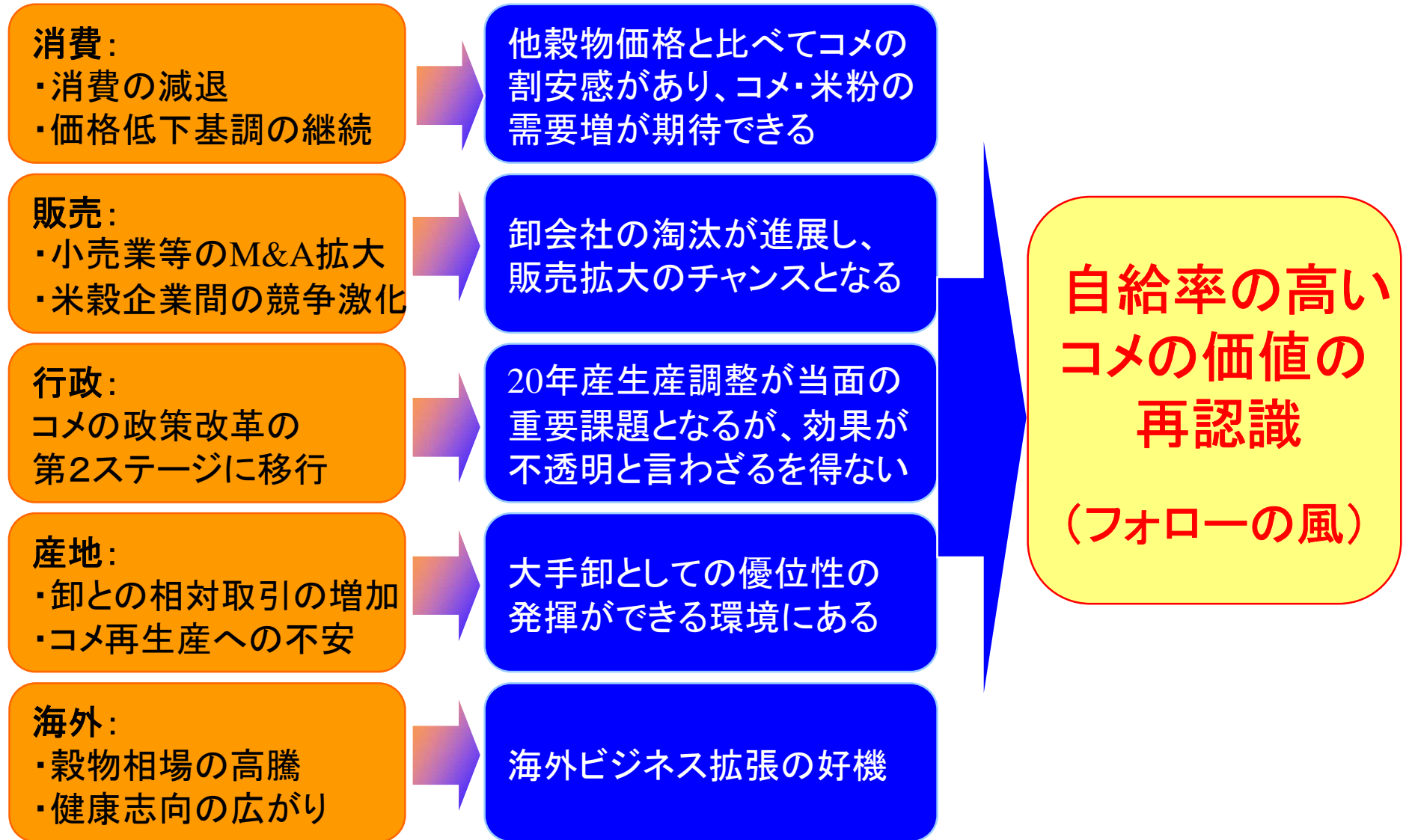
経営理念

お客さま、株主、地域社会などのステークホルダーを重視するとともに、
組織の活性化や従業員のモチベーション向上を図り、
「食」というフィールドを通じて企業の成長と社会への貢献を実現したい。

2-1. 当社を取り巻く経営環境(食品業界全体)



2-2. 当社を取り巻く経営環境(コメに係わる事業)



3. コメに係わる事業の中長期の経営方針(総論)

攻めの経営へ

- ◆成熟市場における確固たる地位の確保
- ◆新しい販売チャネル・用途の開拓、
付加価値商品開発の強化
- ◆特徴ある海外ビジネスの強化
- ◆持続的なコメ再生産の実現における役割

3-1. コメに係わる事業の中長期の経営方針

成熟市場における確固たる地位の確保

- ◆販売数量の拡大
5年後、グループ全体で40万トン規模へ
- ◆既存取引先との関係強化
取引先の規模拡大に伴う販売チャンスの拡大、
新商品取扱いの強化
- ◆新規取引先獲得の強化
専任組織による開拓の促進
- ◆製造・販売コストダウンの継続
コスト競争の優位性の確保

3-2. コメに係わる事業の中長期の経営方針

新しい販売チャネル・用途の開拓、 付加価値商品開発の強化

- ◆米粉の販売チャネル・用途の拡大
小麦・大豆等の穀物価格高騰が追い風に
- ◆機能性コメ加工食品の販売拡大
低たんぱく米、低カロリー米等の関連商品の拡充
- ◆コメ糠の新たな価値創造
コメ糠からフレッシュかつヘルシーなコメ油の抽出に
取り組み、精米工場の副産物との位置づけから
新しい食品原料として活用

3-3. コメに係わる事業の中長期の経営方針

特徴ある海外ビジネスの強化

- ◆海外市場向けのコメビジネスの強化
ベトナム産ジャポニカ米、中国産ジャポニカ米等の
海外で生産したコメを東南アジア、ヨーロッパ等
向けに販売
- ◆新しい海外拠点の構築
タイ産米の取扱い強化を目的とする販売会社
キトクタイランド社の設立(2008年2月25日設立)
- ◆海外法人を拠点に国際市場におけるコメの動向
に関する情報収集の強化

3-4. コメに係わる事業の中長期の経営方針

持続的なコメ再生産の実現における役割

◆流通業者としての役割

農家のコメ生産に関する意欲の衰退等に対応するため、生産者をはじめ、農協組織、また行政と協力しながら、持続可能なコメ再生産システムの構築に向けて流通の役割の発揮

◆消費者への啓蒙

コメ自給率の維持に関する社会的な意義

3-5. コメに係わる事業の中長期の経営方針(まとめ)

以上4つの経営方針の実現により

経営環境の変動に左右されにくい
持続的な成長の実現

4. その他の事業の課題

鶏肉・惣菜

鶏肉加工分野の収益性の改善

安全、安心な惣菜の製造・販売体制の強化

鶏卵

取扱い数量の拡大

産地との関係強化による営業力の促進